

北海道教育委員会教育長 様

北海道札幌月寒高等学校長
三 村 素 道

次のとおり令和5年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

(1) 自己理解と将来展望に立ち、自主的な学習と主体的な進路実現を促す。 (2) 規範意識と思いやりの心を育て、自覚と責任ある行動を促す

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・基礎学力の向上と定着を図るため、よりきめ細やかな学習指導の方法について検討する必要がある。	・学習に取り組む主体性を育てるために、教科書から離れた教育課程や素材(新聞など)の活用などを期待する。
改善方策	・主体的に学習に取り組む態度を育成するため、生徒の実態に応じた課題や宿題などの配付を検討する。	
生活指導	・基本的な生活習慣を確立させるための指導を継続させるとともに、生徒の自主性を育む取組について検討する必要がある。	・与えられた環境の中で、挑戦することを忘れないような指導を期待したい。
改善方策	・頭髪やピアスに関する生徒への指導について検討する。	
進路指導	・4年間を見通した系統的な進路計画の策定と生徒一人一人の進路実現に向けた指導体制の充実に努める。	・より身近で社会に接する機会の多いと思われるので、外部と協働した取組をとおして社会人としての意識を持たせたい。
改善方策	・2・3学年で職業観育成の充実に努める。	
健康安全指導	・心身ともに健康な生徒を育成するため、健康安全意識を高める教育活動の充実に努める。	・相談体制の充実・強化を図っていることを高く評価する。
改善方策	・外部講師との連携などにより、一層の健康・安全意识の育成に努める。	
運営	・分掌間・職員間の協働体制をより強め、業務の平準化を図る必要がある。	・業務改善から校務分掌等の改編を検討するとよい。
改善方策	・日常業務に加え、当番校業務等を円滑に進められるよう、分掌間・職員間の連携を一層図るよう努める。	
連携	・関係機関と連携を図り、教育活動の円滑な運営に努める必要がある。	・同窓会も参画できるような企画を考えていただければ協力していきたい。
改善方策	・国や道の感染症対策を踏まえた上で、後援会や同窓会、家庭との連携に努める。	
他	・時間外勤務の解消を図るとともに業務の質の向上に努める。	・限られた時間の中で様々な課題に取り組まなくてはならないのでより具体的な改革が必要。
改善方策	・一人一人の意識の高揚を図り、より実効性のある取組に努める。	

公表方法	(1) 学校HPに掲載する。 (2) 広報紙に掲載し、保護者・地域に配付する。 (3) 後援会役員会・総会及び学校評議員会などで報告する。
------	---

3 添付資料

(1) 自己評価・学校関係者評価の結果票